

教材文

およげない りすさん

場面①

池のほとりで、あひるさんと白鳥さんが、池の中のしまへ行って、あそぶ。そうだんを、していました。そこへ、りすさんが、あそびに来ました。りすさんも、みんなと、いっしょに、しまへ行きたく、なりました。



「ぼくも、いっしょにつれて、いってね。」と、みんなに、たのみました。「りすさんは、およげないから、だめ。」みんなが、言いました。

場面②

そして、みんなは、池に入ると、しまの方へ、およいで、いって、しまいました。りすさんは、一人ぼっちになってしまったので、うちへ、帰りました。みんなは、しまに、つきましました。しまには、すべり台や、ぶらんこが、ありました。しかし、あそんで、いても、少しも、楽しくありません。



場面③

「やっぱり、りすさんが、いた、ほうが、いいね。」
「でも、りすさんは、およげないからな。」
白鳥さんと、あひるさんが、言いました。
かめさんは、しばらく、してから、
「うん、いい、考えがある。」
と、言いました。



つぎの、日、りすさんが、池のほとりへ行って、みると、みんなが、あそんで、いました。

「りすさん、きのうは、ごめんね。」
「今日は、りすさんも、いっしょに、しまへ行こうよ。」
白鳥さんと、あひるさんが、言いました。

場面④

かめさんは、
「りすさん、りすさん、ぼくの、せ中の、りなさいよ。」
と、声を、かけました。
りすさんは、にこにこしながら、かめさんの、せ中に、のりましました。
かめさんの、せ中の、った、りすさんをかこんで、みんなは、しまへ、行きました。



文部科学省「わたしたちの道徳」小学校一・二年

【資料等】

↓ 中心発問で使用するワークシート

★ ★ 役割演技をおえて、どんなことを考えましたか。

★ ★ 遊んでいる、あひるさん、かめさん、白鳥さんは、どんな気持ちであそんでいるのでしょうか。

〔小学校 道徳科学習ワークシート〕
 年 組 番 名前

↓ 役割演技の例

りすさん：「ぼくもいっしょにつれていってね。」
 かめさんたち：「りすさんは、およげないから、だめ。」（三人で言う。）
 ナレーション：そして、みんなは池に入ると、しまの方へおよいでいってしまいました。
 りすさんは、一人ぼっちになってしまったので、うちへ帰りました。
 みんなはしまにつきました。しまには、すべり台やぶらんこがありました。しかし、あそんでいても、少しも楽しくありません。
 白鳥さん：「やっぱり、りすさんがいた方がいいね。」
 あひるさん：「でも、りすさんはおよげないからな。」
 かめさん：「うん、いい考えがある。」
 ナレーション：つぎの日、りすさんが、池のほとりへ行ってみると、みんながあそんでいました。
 ※ ナレーションは指導者が行い、3～4人で役割演技を交替しながら行う。
 ※ 役割演技は、児童の実態に応じて、設定する。